KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

- ※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先:虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
- ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名			単位数	開講期	
-	Z 211	1 単位	4 学期		
Corp	Z 211		4 7-79]		
	課程領域				
ファイナンス・アカウンティング		ビジネスマネジメント専門科目			
担当教員名		連絡方法 / ス	ナフィスアワー		
高橋 晃	_	メールアポイントにて随時			

関 連 して い る 科 目 (履修推奨科目)					
会計・財務要論1、2	企業財務特論A	知的財産評価実務特論			
授業の概要と到達目標					

授業の主題と概要

企業における財務会計やコーポレートファイナンスの基礎に関する一定程度の知識があることを前提として、「コーポレートファイナンスの理論的枠組みと実務レベルでの企業価値評価への応用」を学ぶ。具体的には、DCF法や投資判断手法などのコーポレートファイナンスの基礎の確認、モダンポートフォリオ理論、資本資産評価モデル(CAPM)、加重平均資本コスト(WACC)、最適資本構成の概要を理解した上で、基本的な企業価値評価に関する演習を実施する。

到達 (修得) 目標

モダンポートフォリオ理論とCAPM、企業の資本コストや最適資本構成など、コーポレートファイナンスに関する重要テーマを理論面からしっかりと理解し、ビジネス初級レベルの企業価値評価算定に応用する力を身につける。

受講対象者

コーポレートファイナンスの理論面に関して、実務に役立つレベルでの理解を深めたい方

履修上の注意事項やアドバイス

ケーススタディ回の授業には、PCを準備しておくこと。(MS EXCELをクラスで使用した実践を予定している)

- ※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。
- ※ 担当する教員は実務家教員とする。
- ※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

			コンピテンシ修得目標				
知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー(Z軸)		思考プロセス(X軸)			
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1:	問題発見力	0	X1:	企画	
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2:	独創力		X2:	構想	
Y3: グローバル法令・実務		Z3:	問題解決力	0	Х3:	調査·分析	
Y4: マネジメント	0	Z4:	プレゼンテーションカ		X4:	設計•開発	
Y5: 戦略立案		Z5:	変革推進力		X5:	変革	
Y6: 標準化		Z6:	コミュニケーションカ		X6:	導入·運用	
		Z7 :	リーダーシップカ		X7:	評価·検証	
		Z8:	ネゴシエーションカ		X8:	リーガルマインド	
		Z9:	オーナーシップカ		X9:	ライフサイクル	
	•			•			

	プラクティカム						
	イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール				
1		複雑・実践的な企業価値評価の EXCEL上での実習	EXCEL				
2							
		平価の方法					

(総合評価項目と割合)			評	価	の	要	点		
出席·受講態度	10%	毎回、事務室。	より出席簿	を進備	苗する。	クラスて	での質問	• 発言•	グループデ	ィスカッ
課題提出、クラス貢献	40%	ション参加等の)貢献度も	評価~	する。 期	末の演	【習では、	、これま	でのクラス内	での授
演習(小テスト含む)	50%	業をどれだけ野	里解したか	を、具な数で	し体的な チェ	は課題に	対するに	/ポート	作成・提出・	グルー
슴計	100%	ディスカッション	/ 化囲しし	1年126	9 W ₀					

	備考							
※ 追加する場合を含む	※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください							
テキスト (購入が必要)	特になし(クラスにて配布)							
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	「新版グロービスMBAファイナンス」グロービス経営大学院(ダイヤモンド社) 「ファイナンシャル・マネジメント」ロバート・C・ヒギンズ(ダイヤモンド社) 「コーポレート ファイナンス(第8版)上下」ブリーリー&マイヤーズ(日経BP社)							
参考URL								

適宜紹介予定

※クラス准排にあわせて「小テスト・解答 解説」を実施する場合があります

コマ	R進捗にあわせて、「小テスト・解答、解説」を実施する場合があります。 学習内容	事前準備·課題	担当者	時間
	コーポレートファイナンスの全体像 会計とコーポレートファイナンスの関係、コーポレートファイナンスの体系	特に無し		
1.2	コーポレートファイナンスの基礎(1) (キャッシュフロー、金銭の時間的価値、DCF法、NPV法とIRR法)	特に無し	一高橋晃	180分
	イベント		"	
3.4	コーポレートファイナンスの基礎(2) (FCF、負債の節税効果、WACC)	特に無し	- 高橋 晃	180分
3.4	現代ポートフォリオ理論(1) 計量経済学計算の基礎(リスク概念、標準偏差・分散)	特に無し	同が同うな	100)
	イベント			
5.6	現代ポートフォリオ理論(2) 計量経済学計算の基礎(共分散、相関係数、回帰分析)	特に無し	高橋 晃	180分
0.0	資本資産評価モデル(CAPM) (マーケットポートフォリオ、β(ベータ)、資本市場線、レバー)	特に無し	IEITIRI JE	100)
	イベント			
7.8	加重平均資本コストと最適資本構成 コーポレートファイナンスに関する時事トピックス、補論等	特に無し	- 高橋 晃	180分
7.6	企業価値評価演習 (実践的な企業価値評価のEXCELでの実践。課題として事前に提出し、 クラスでディスカッションと解説)	演習課題の事前提出	一 同間 光	100万
	イベント 演習課題に関するグループディスカッションとプレゼン		•	

- ※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。 ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。

専任教授 確認記録欄

確認者氏名: 三谷